

## 【過去の夜の講座 一覧】

年度	開催日	名称	講師 (役職は当時のもの)	参加 人数
平成 25 (2013)	5. 23	石鎚山系の人とけもの	山本貴仁(NPO法人西条自然学校代表)	25
	6. 21	久万高原の人とさかな	清水孝昭(愛媛県水産研究センター栽培資源研究所主任研究員)	20
平成 26 (2014)	5. 23	愛媛と久万高原のタンポポ	松井宏光(NPO法人森からつづく道代表)	18
	6. 19	愛媛と久万高原のセミ	今川義康(NPO法人西条自然学校スタッフ)	28
	10. 2	狸夜話～四国と久万高原のタヌキについて～	谷地森秀二(NPO法人四国自然史科学研究センター代表)	54
	11. 20	ジャコの話～久万高原のカメムシについて～	面河山岳博物館学芸員	61
平成 27 (2015)	5. 15	石鎚山系の地形	山本貴仁(NPO法人西条自然学校代表)	45
	6. 18	久万高原のクワガタムシ	山岳博物館学芸員	40
	7. 30	久万高原の両生類	山岳博物館学芸員	28
	9. 16	カメムシの話	山岳博物館学芸員	26
	10. 6	四国のコウモリ	谷地森秀二(NPO法人四国自然史科学研究センター代表)	45
	11. 11	久万高原の鉱物	皆川鉄雄(元愛媛大理学部教授)	83
平成 28 (2016)	4. 15	愛媛と久万高原の藻類	小林真吾(愛媛県総合科学博物館学芸員)	18
	5. 11	四国と石鎚のソウシチョウ	金城芳典(認定NPO法人四国自然史科学研究センター研究員)	38
	6. 15	久万高原の森と人	本藤幹雄 (中予山岳流域林業活性化センター研究員)	48
	10. 28	身近な危険生物	山岳博物館学芸員	40
	11. 30	久万高原の地質	千葉 昇 (県立東予高等学校長、元県科博学芸課長)	35
平成 29 (2017)	4. 26	四国のツキノワグマ	山田孝樹(認定NPO研究員)	48
	5. 11	愛媛の外来哺乳類・鳥類	山本貴仁(NPO法人西条自然学校代表)	39
	6. 15	木の香りと人の暮らし	中川美幸(県職員)	33

	9. 29	コケの話	小島裕美（県立高校教員）	56
	10. 27	愛媛と久万高原のキノコ	小林真吾（県科博学芸員）	39
平成 30 (2018)	4. 6	愛媛と久万高原のサクラ	西原寿明（県職員）	39
	5. 30	愛媛と久万高原の田んぼの生き物	村上裕（県職員）	51
	6. 29	獣を知って獣から守る	葦田恵美子（NPO 法人職員）	53
	9. 19	愛媛と久万高原のトンボ	武智礼央（トンボ学会会員）	31
	10. 13	ハエトリグモの話	須黒達巳（クモ学会会員）	62
	11. 30	古い絵葉書とパンフレットでたどる 面河溪の観光開発	博物館学芸員	16
平成 31 (2019)	5. 28	愛媛の外来生物	村上 裕（県職員）	37
	6. 11	カメラがとらえた愛媛と久万高原の ホテルと星空	北添伸夫（プロカメラマン）	51
	10. 30	久万高原の無居住化集落の話	渡邊敬逸（愛媛大准教授）	40
	11. 26	くらしの中のへび	山路稜子（地域おこし協力隊員）	71
	12. 4	鉱物入門	西尾憲二（愛媛石の会 会員）	45

【過去のチラシ】平成 25 年度

## 石鎚山系の人とけもの

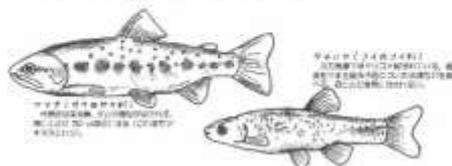
◎日時:2013年5月23日(木)19:00~21:00  
◎場所:久万高原駅やまなみ2F研修室



講師: 石鎚山系自然史  
「石鎚山系自然史研究会 代表理事 佐藤 浩二氏」  
社 会: 久万高原町やまなみ自然史研究会 代表理事 佐藤 浩二氏  
定 額: 500円 (中学生以下は半額) / 200円 (小学生以下は半額)  
場 所: 久万高原駅やまなみ2F研修室  
日 時: 2013年5月23日(木) 19:00~21:00  
電 話: 0892-21-1111(代表)  
FAX: 0892-21-0322

## 久万高原の人とさかな

◎日時:2013年6月21日(金)19:00~20:30  
◎場所:久万高原駅やまなみ2F研修室



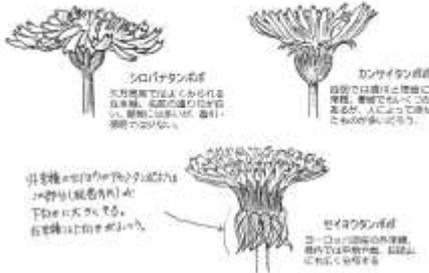
この講座では、久万高原町における魚類の生態状況や漁業資源といった経済利用などについて、現地調査や文献、聞き取りなどから得られた情報により解説します。魚の生態や川にすむ魚の種類、自然と私たちの暮らしの関係性について考えてみましょう。

★久万高原町の川にはどんな魚がいるのか？  
★増えた魚、減った魚  
★魚の卵、イワメについて  
★久万高原にすむ外来種のドジョウ

講 師: 魚類学博士  
「愛媛県立総合研究センター環境学研究所 主任研究員」  
所 長: 久万高原町やまなみ自然史研究会 代表理事 佐藤 浩二氏  
定 額: 500円 (中学生以下は半額) / 200円 (小学生以下は半額)  
場 所: 久万高原駅やまなみ2F研修室  
日 時: 2013年6月21日(金) 19:00~20:30  
電 話: 0892-21-1111(代表)  
FAX: 0892-21-0322

平成 26 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業  
夜の講座「愛媛と久万高原のタンポポ」

タンポポに何種類もあるなんて聞いたことありますか？  
身近な植物が分属からやってくるタンポポの仲間について知ってほしいかな？  
この講座では愛媛と久万高原に見られるタンポポの種類のほかにも、「タンポポの生態的意義」と「タンポポの食」について紹介します。  
また、今年と来年に実施される「愛媛と久万高原の自然観察」の開催の経緯についても解説し、実際の自然観察の場が訪れるときのポイントや準備品も案内いたします。  
入場無料で見るタンポポは私たちの暮らしに大きな影響を及ぼし、農産物に害を及ぼすこともありますが、どこどこにタンポポがいて、それが何という種類のものか、10 年後 50 年後の未来に、我が国の自然の姿を築くことは、これから自然をどう利用していくかを考える上で欠かせないことでもあります！



- ◎日 時：4 月 24 日(木) 19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：松井宏光先生(愛媛県植物研究会会長、NPO 森からつづみ代表)
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

※本事業は愛媛県自然環境課の「愛媛県の生物多様性の普及・啓蒙事業」と共催しています。

平成 26 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業  
夜の講座「愛媛と久万高原のセミ」

夏には 14 種のセミがいますが、ここ久万高原には、そのうちのヒメハルゼミだけのぞいた 13 種が生息しています。なぜ、こんなに多くの種類が久万高原にはいるのでしょうか？そして、なぜヒメハルゼミのいないのでしょうか？これには久万高原の森林環境や気候が大きく関係しています。  
この講座ではセミの生態や生活史、愛媛と久万高原に生息するセミについて自分自身で観察していただき、セミの存在を通して、地域の自然を知る機会としたいと考えています。



- 【内容】
- ◎愛媛のセミ 14 種について
  - ◎増えているセミ、珍しいセミ
  - ◎セミの発音の仕方、鳴き分けの仕方
  - ◎久万高原にはなぜセミが多いか？
  - ◎セミの羽の構造、抜け殻の構造

- ◎日 時：5 月 19 日(木) 19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：今川龍康先生(西条自衛学校スタッフ)
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

※本事業は愛媛県自然環境課の「愛媛県の生物多様性の普及・啓蒙事業」と共催しています。

【面河山岳博物館・夜の講座】  
たぬき よげなし  
狸夜話  
～四国と久万高原のタヌキについて～

この講座では哺乳類の専門家をお招きし、四国や久万高原にすむタヌキについて、その生態や久万高原にも生息するタヌキ伝説などをテーマに、分かりやすくお話ししていきます。  
身近な存在であるタヌキを通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！



- 【内容】
- ◎タヌキってどんな動物？
  - ◎どこで棲て、何を食べる？
  - ◎なぜ交通事故が多いの？
  - ◎どんな産業被害があるの？
  - ◎自然、久万高原のタヌキ伝説

- ◎日 時：10 月 2 日(木) 19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：各地森考二さん(愛媛NPO法人四国自然史科学研究所センター長)
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0892-58-2130  
FAX:0892-58-2136



【面河山岳博物館・夜の講座】  
ジャコの話  
～久万高原のカメムシについて～

駅になると、たくさん家に入ってきて「くさい」「きちわるい！」と嫌がられているジャコ(クサキカメムシ)。たくさん見るわりには、どこでどんな暮らしをしているのかがあまり知られていません。  
この講座では、ジャコの生態や分類、家に集まるメカニズムなどについて、分かりやすくお話しします。また、日本に 1300 種以上生息するカメムシについて、主に久万高原で見られる種類を中心にさまざまな「カメムシ科学」を紹介します。  
身近な存在であるジャコ、カメムシを通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！



- 【内容】
- ◎ジャコってどんな虫？なんで多いの？
  - ◎何を食べる？どこにすむ？
  - ◎なぜ秋に飛んでくる？捨てるの？
  - ◎久万高原の珍しいカメムシ、外来種
  - ◎鳴く、跳す、隠す、泳ぐカメムシ
  - ◎カメムシを食べて大丈夫？などなど

- ◎日 時：11 月 20 日(木) 19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：面河山岳博物館学芸員
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

平成 27 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業  
夜の講座「石鎚山系の地形」

動物物の宝庫として有名な石鎚山ですが、登山者の目当てはそれだけではありせん。高度によって様々な動植物を見ることが出来るのは、北陸の西端や香取の深谷美穂と、その大きな標高は季節を問わず私たちを魅了します。

これらを生み出す地形は 1500 万年前に活動した石鎚火山によってできたもので、と言われても、道の途中の景観がどうやってできたかなんて、なかなかイメージが湧きません。そこで今回の講座では登山者の視点で、石鎚の地形の良否や興味深い成り立ちなどを紹介します。私たちが歩いている地面の石が何からできているのか？なんて石鎚はあんなに美しいのか？なんて素晴らしいのはササバツクリ鳥の？ 選んでみれば不思議な〜という地形の歴史を聞いてみましょう！

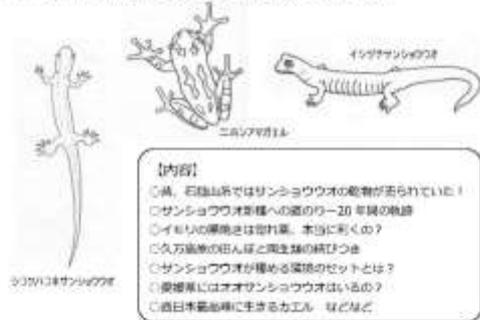


◎日 時：2015 年 5 月 15 日(金) 19:00～20:20  
◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(A5 号車直結)202-31  
◎講 師：山本貴仁 (NPO 法人西条自然学校代表)  
◎参加費：無料  
◎定 員：50 名  
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0992-58-2130 FAX：0992-58-2136

平成 27 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業  
夜の講座「久万高原と愛媛の両生類」

両生類は日本から 78 種 (10 種を絶滅) が知られていますが、そのうち約 83% が日本固有種 (新種) です。このことは日本が固有種国家から、多様な動物資源に恵まれていることを証明しています。

両生類はその名の通り、「水境」と「陸境」の両方なくては生きていけません。つまり両境を暮らしていることから和名に附いて、自分を守る環境に強く依存している動物です。今回の講座では、久万高原に生息する両生類の種類や生活などについて解説します。いろいろな両生類から集めた山岳両生類のことを理解していただく機会になります。

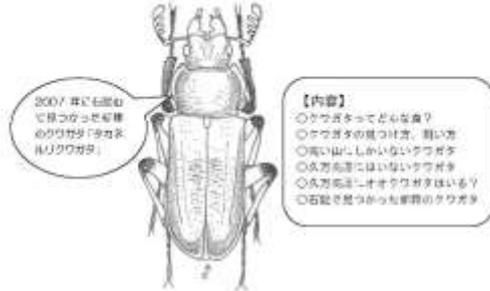


◎日 時：2015 年 7 月 30 日(木) 19:00～20:10  
◎場 所：美川農村博覧会センター2F 研修室(A5 号車直結)202-31  
※久万高原駅(後援)美川支所との合同(観三戸)  
◎講 師：面河山岳博物館 学芸員  
(蛙エンジェルジュが分かりやすく解説します！)  
◎参加費：無料  
◎定 員：50 名  
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0992-58-2130 FAX：0992-58-2136

平成 27 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業  
夜の講座「久万高原のクワガタムシ」

ミヤマ、ノコギリ、アカアサ、という久万高原ではよく見るクワガタムシですね。どんな姿をしているのか、すぐに捕まえられる人も多いのでは。では、マダラ、ムリ、ツヤハダといくつあるのでしょうか？ 水、それってクワガタムシなの？ と疑問を抱くのはどうも普通かも知れません。

資料館には 18 種のクワガタムシが展示していますが、久万高原からはそのうちの 14 種が確認されています。小豆サイズの小さなマダラクワガタ、舌が鋭く長い、長く長く伸びたクワガタ、繁殖期からは 20 年近く見つからないツヤハダクワガタなど、興味深い種類が多い種が揃っています。今回の講座では早速久万高原のクワガタムシを紹介し、積年の疑問のあちろしを肉親にしたいだけにとりたいです。



◎日 時：2015 年 6 月 18 日(木) 19:00～20:10  
◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(A5 号車直結)202-31  
◎講 師：面河山岳博物館 学芸員  
◎参加費：無料  
◎定 員：50 名  
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野)  
電話：0992-58-2130 FAX：0992-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

カメムシの話

～ジャコのくらしを調べてみよう！～

秋になると、たくさん家に入ってきて「くさい」「きついわい」と嫌がられているジャコ(オオサンショウウオ)が、たくさん集まるわけには、どこでどんな暮らしをしているのかあまり知られていません。

この講座では、ジャコの生態や家の中に入ってくる方法などについて、分かりやすくお話しします。また、ペコヤコで作ったジャコを捕めるワナ「ジャコホイホイ」を使って、ジャコの活動時期や家に入ってくる個体などを調べる方法を紹介します。ジャコホイホイを使えばある程度は家の中に入ってくる個体が減らせます！

ジャコ調査員として協力いただける方、ぜひ参加してください！



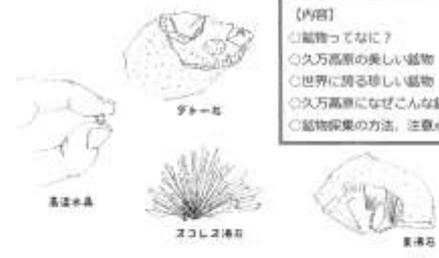
◎日 時：9 月 16 日(水) 19:00～20:15  
◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(A5 号車直結)202-31  
◎講 師：面河山岳博物館学芸員  
◎参加費：無料  
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話：0992-58-2130 ☎FAX：0992-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

# 久万高原の鉱物

この講座では岩石・鉱物の専門家をお招きし、久万高原にみられる美しい鉱物や珍しい鉱物などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。  
久万高原からは魚鱗石や流石焼、紅葉石、水晶といった様々な鉱物が産出します。足元や目の前の山に隠れた鉱物の世界を通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】  
◎鉱物ってなに？  
◎久万高原の美しい鉱物  
◎世界に誇る珍しい鉱物  
◎久万高原になぜこんな鉱物が？  
◎鉱物採集の方法、注意点



- ◎日 時：11月11日(水) 19:00~20:30
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原町久万 202-3)
- ◎講 師：皆川鉄雄先生(元愛媛大学理学部教授)
- ◎参加費：無料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話:0892-58-2130 ☎FAX:0892-58-2136

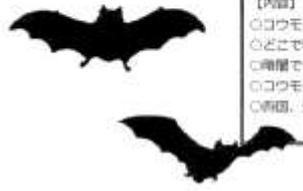
【面河山岳博物館・夜の講座】

# 四国のコウモリ

この講座では哺乳類の専門家をお招きし、四国や久万高原にすむコウモリについて、種類や生態、調査の方法などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。

なんと、コウモリの翼は「手」なんです！！びっくり！  
知っているようで知らないコウモリの世界を通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】  
◎コウモリって鳥？哺乳類？  
◎どこで暮る？何を食べる？  
◎洞窟でもなぜぶつからない？  
◎コウモリの暮れ方  
◎四国、久万高原にすむコウモリ



- ◎日 時：10月6日(火) 19:00~20:10
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原町久万 202-3)
- ◎講 師：谷地森孝二さん(認定NPO法人四国自然史科学研究所センター長)
- ◎参加費：無料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話:0892-58-2130 ☎FAX:0892-58-2136

平成 28 年度

【面河山岳博物館・夜の講座】

# 四国と石鎚のソウシチョウ

ソウシチョウという鳥を知っていますか？大きな声はスズメほどで、赤や黄色など鮮やかに彩られた、鳴き声も美しい野鳥です。なんとかわいらしいこの野鳥が、現在、日本各地で分布を拡大している「外来生物」として問題になっています。

元々の生息地は中国南部からバトナム・インドなど、ペレットとして国内に持ち込まれたものが逃げ出したとされています。高尾では1990年代から目撃例があり、今では石鎚山系で毎ヶこの繁殖に足られるほど分布が拡大しています。これから町内各地で目にする機会が増えてくることでしょう。

この講座では四国のソウシチョウを長年追い続けている専門家をお招きし、外来生物の繁殖点などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。  
じわじわと広がるつつある地域の自然の現状を知るまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】  
◎外来生物とは？  
◎ソウシチョウってどんな鳥？  
◎四国、石鎚山系の分布状況  
◎外来生物に対する対策  
◎四国の考えの外来生物  
◎これからやってくるかもしれない外来生物  
◎外来生物に対する取り組み



- ◎日 時：平成 28 年 5 月 11 日(水) 19:00~20:10
- ◎場 所：久万町民館研修室 ※久万高原町役場横  
(愛媛県上野穴部久万高原町久万 188)
- ◎講 師：金城 芳典さん  
(認定NPO法人四国自然史科学研究所センター 副センター長)
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話:0892-58-2130 ☎FAX:0892-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

# 久万高原の森と人 ～くらしがつくる森の形～

久万高原には石鎚山をはじめ、大川谷や谷など標高1,000mを超える地域に、樹木では珍しいブナの自然林が残っています。ブナやマツ、カエデなど日本が益沢森林内を多くと、そこは動物のまぶたの森を創るためにも残ります。しかし、実際には石鎚山でさえ、そのかなり面積が過去に伐採など人間活動の影響を受けてきました。

スギ・ヒノキの人工林、薪木を中心とした里山に限らず、高山も実は人間によって作られてきたといっても過言ではありません。久万高原の誇る「大自然」とは一体何を指しているのでしょうか？

この講座では、久万高原における林業を中心とした人と自然の歴史について、過去 300 年間の自然の移り変わりを分かりやすくお話しします。  
身近な地域の自然の過去・現状を知り、未来を考えるまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】  
◎久万高原の歴史について  
◎高が少なかった100年前  
◎里山・薪谷・薪谷の林業の歴史  
◎石鎚山系の森林の歴史  
◎木の間について  
◎紅葉の森はなぜあつた？  
◎これから高と人のつながり



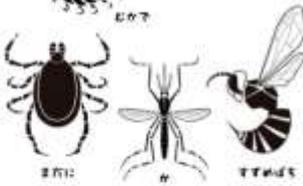
- ◎日 時：平成 28 年 6 月 15 日(水)19:00~20:10
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横  
(愛媛県上野穴部久万高原町久万 188)
- ◎講 師：本藤 幹雄さん(中予山岳流域林業活性化センター 特別研究員)
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話:0892-58-2130 ☎FAX:0892-58-2136

## 【面河山岳博物館・夜の講座】 身近な危険生物

危険生物とはマムシやムカデ、スズメバチ、アブなど、「かんだり刺したりする」「毒をもって」「病気を運ぶ」など、人に危害を加えることのある生き物のこと。自然が多く残っている久万高原には、私たちのよく身近な場所にもこれら危険生物がたくさん見られます。



今回の講座ではこれらの生態や体の特徴から、被害を未然に防ぐ方法や被害を受けた際の対処法などを紹介します。正しい知識をもつたうえで正しく怖がる、そんな姿勢で地域の自然とつきあってみましょう！



- 【おまな内容】**
- スズメバチの巣分け方
  - マダニってどんな危険生物？
  - マダニやスズメバチから身を守る方法
  - ムカデを家に入れないようにするには？
  - あぶない虫歯への対処法
  - あへどの見分け方、もし咬まれたらどうする？

◎日 時：平成 28 年 10 月 28 日(金) 19:00～20:10  
 ◎場 所：面河住民センター3 階ホール  
※久万高原町役場面河支所となり(愛媛県上野穴郡久万高原町法庫 2431)  
 ◎講 師：面河山岳博物館学芸員  
 ◎参加費：無 料  
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

## 【面河山岳博物館・夜の講座】 久万高原の地学散歩

この講座では面河の専門家を訪問し、自然のカルストや古街道、御三戸、玉川溪、石輪山など久万高原の語るべき名所について、地層や化石がどのようなものであるか、その歴史や特徴について、分かるやすくお話ししていただきます。見られたいつもの風景、そこに隠れた石たちの歴史を通して、地域の自然を語る新たな機会です。お楽しみに！



- 【内容】**
- ◎面河川の湧石、その意味は？
  - ◎どこまで見つかると化石は化石？
  - ◎久万川は地層化石の宝庫
  - ◎石輪山の地層は分かった！
  - ◎石輪山と御三戸の石
  - ◎御三戸とカルスト
  - ◎湧石って、どんな石？

◎日 時：平成 28 年 11 月 30 日(木)19:00～20:20  
 ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横  
(愛媛県上野穴郡久万高原町久万 188)  
 ◎講 師：千葉 勇さん  
(愛媛県立真子高等学校長、前愛媛県総合科学博物館学芸員)  
 ◎参加費：無 料  
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館(真山/夜野) 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

平成 29 年度

## 【面河山岳博物館・夜の講座】 四国のツキノワグマ

熊山とその周辺を主産地とする四国のツキノワグマは、黒色の生体個数が数十個程度といわれ、国内で最も絶滅の危険性が高い哺乳類種と考えられています。愛媛県では 1972 年に伊予市で捕獲されたオスを最後に、確実な生息の記録が確認できていません。しかし、石輪山系や鬼ヶ嶺山系では不確定ですが毎年のように目撃情報があり、まだまだ絶滅してしまっただけではないと考えられます。



この講座ではツキノワグマの専門家をお招きし、生息や四国の生息状況、保全のための課題などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。誰でも事前は知っているものの、四国でその姿を見ることのない謎多き哺乳類ツキノワグマについて学んでみませんか？



- 【内容】**
- ◎四国各地のツキノワグマは生息状況
  - ◎生息と、足跡など調査の特徴
  - ◎ツキノワグマに出会ったらどうする？
  - ◎ツキノワグマは「絶滅危惧種」なのか？
  - ◎愛媛、石輪山系に生息しているのか？
  - ◎ツキノワグマが生息できる環境とは？

◎日 時：平成 29 年 4 月 26 日(木) 19:00～20:20  
 ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横  
(住所/上野穴郡久万高原町久万 188)  
 ◎講 師：山田孝樹さん(愛媛 NPO 法人自然生態系科学研究センター主任研究員)  
 ◎参加費：無 料  
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

## 【面河山岳博物館・夜の講座】 愛媛の外来哺乳類・鳥類

外来生物とは、『ちとちとその地域にはいなかったのに、人間活動によって外国や国内の他の地域から入ってきた生物』をいいます。現在、愛媛県からは外来生物の哺乳類が 15 種、鳥類が 33 種確認されています(定着していない種を含む)。そのうちアライグマとソウシヤウウが生態系、人の健康あるいは農林水産業に特に重大な影響を及ぼす種として「特定外来生物」に指定されています。

この講座では愛媛県内で問題になっている外来哺乳類と鳥類について、その生態や生息状況、愛媛の自然や私たちの生活への影響などをテーマに、分かりやすくお話しします。知らない頃に身近な存在になりつつある外来生物について学んでみましょう！



- 【内容】**
- ◎どんな外来哺乳類と鳥類がいる？
  - ◎特定外来生物 2 種の見分け方
  - ◎どんなところでいて、何を食べる？
  - ◎私たちにどんな影響があるのか？
  - ◎これから入ってくるかもしれない種類
  - ◎外来生物を見つけたら？

◎日 時：平成 29 年 5 月 31 日(水) 19:00～20:20  
 ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横  
(住所/上野穴郡久万高原町久万 188)  
 ◎講 師：山本貴仁さんの PPO さん(高松大学准教授)  
 ◎参加費：無 料  
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138



【面河山岳博物館・夜の講座】

## 愛媛と久万高原のサクラ

～分布と遺伝構造からみる地域の生物多様性～



サクラといえは桜属、入学式、花見など、我々日本人にとって最もなじみ深い花のひとつでしょう。お節やお祝いには飾られるのはほとんどがソメイヨシノですが、実は少山に入るとたくさんの野生のサクラがみられます。

今回の講座では愛媛県森林研究センターの研究員をお招きし、身近な存在なのにその起源や分布、分布の歴史など、数多きサクラの生育を遺伝子解析という手法を通してお話してもらいます。サクラを詳しく知ることで地域の自然の豊かさを、そして多様性が見えてきます。まるでミステリー小説を読み進めるような愛媛のサクラ研究の話を是非お楽しみください！

### 【主な内容】

- ◎DNAを見える化する（遺伝子を使った研究について）
- ◎サクラがもつ石炭の殻を詳しく仕組み
- ◎愛媛のサクラ、自然分布と栽培された品種など
- ◎愛媛で有名なヤマザクラ、オオヤマザクラ
- ◎石垣で有名なインシシヤサクラの遺伝
- ◎愛媛のヤマザクラ、久万高原にも咲く樹皮系系統とは？
- ◎遺伝子がわかる地域の自然の豊かさ



- ◎日 時：平成 30 年 4 月 6 日（金）19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原町民館 会議室  
（住所／上平六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：西原 寿明さん（愛媛県森林研究センター主任研究員 樹木部）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座（共催：愛媛県生物多様性センター）】

## 愛媛と久万高原の 田んぼの生き物

水田はイネを育てる農地ですが、同時にカエルやトンボ、ゲンゴロウなどの生き物にとって重要な生態系にもなっています。農業者しなびる多様な生き物たちの暮らしを支える。そんなことができるのが水田なのです。しかし、近年、イネの栽培種類の短縮や農機整備（排水設備のコンクリート化）、農閑期の乾田化などが進み、水田の生き物たちにとって暮らしにくい環境になりつつあります。

今回の講座では愛媛県生物多様性センターから研究員をお招きし、水田の管理とカエルやトンボなどの暮らしとの関係について、これまでの研究成果を紹介していきます。身近な水田にちょっと目を凝らしてみれば驚きがいっぱい！お楽しみに！



### 【主な内容】

- ◎お米作りだけじゃない、水田の存在意義
- ◎愛媛のトノサマガエリとオオノサマガエリの分布
- ◎久万高原は平地で育ったトノサマガエリの天敵
- ◎イネの栽培種類の違いがカエリの生育に与える影響
- ◎ため池管理と農機整備がオオノサマガエリの繁殖
- ◎おいしいお米をつくって生き物の暮らしを支える方法

- ◎日 時：平成 30 年 5 月 30 日（水）19:00～20:30
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館 研修室（住所／上平六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：村上裕さん（愛媛県生物多様性センター主任研究員）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

### 参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。1日1名1人1種1講座に限り、延期・中止などの本講座に関するご連絡のみ対応させていただきます。また、第二者に譲渡・譲渡することはありません。

参加者氏名	
住所	〒〒〒までがよいません。
電話番号	

【平成 30 年度 面河山岳博物館・夜の講座】

## 獣を知って獣から守る

～イノシシ・シカ・サルの獣害対策の考え方～

久万高原で問題になっているイノシシやニホンザルなどの獣害とその対策の基本的な考え方について学びます。

獣の生態や行動を学び、人と獣の生活圏の連続性や里山利用の現状を、地域ごとに調べていくと、「獣害人家に寄せ付けられないようにするには何が重要か？」という答え方が重要であることが分かります。獣害に、人は里に、「踏み分け」の在り方を考えてみましょう。

### 【主な内容】

- ◎ニホンザル・イノシシ・コホシの生態
- ◎どんな獣が来る？ 何で来る？
- ◎獣害から人の生活を守るには？
- ◎獣害の防止を考える



- ◎日 時：平成 30 年 6 月 29 日（金）19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館 研修室  
（住所／上平六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：葦田恵美子さん（国立IPPO鳥獣害防除研究センター研究員）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

### 参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。1日1名1人1種1講座に限り、延期・中止などの本講座に関するご連絡のみ対応させていただきます。また、第二者に譲渡・譲渡することはありません。

参加者氏名	
住所	〒〒〒までがよいません。
電話番号	

【平成 30 年度 面河山岳博物館・夜の講座】

## 愛媛と久万高原のトンボ

誰でも知っている身近な昆虫のひとつ、トンボ。愛媛県にはなんと 91 種も生息しています。トンボの幼虫（ヤゴ）は水生昆虫です。環境と自然の保たれた環境や河川、池沼などの水田が広がる地域は生きやすい環境で、「田舎環境」となるべきです。田舎環境でトンボが産むということは、ゲンゴロウやカエル、動物などに比べて他の生き物も産みやすくなるということも意味します。

今回の講座ではトンボの生態から観察・採集の歴史、トンボを守る意義などについて専門家がお話します。トンボを通して身近な自然を知る新たなチャンスです！

### 【主な内容】

- ◎トンボってどんな昆虫？
- ◎愛媛のトンボ、久万高原のトンボ
- ◎美しい！ヤゴの採集体験
- ◎種を採集するコツ
- ◎トンボってなにを食す？
- ◎トンボの多様性が意味するもの
- ◎トンボとの関わりと今後の展望



- ◎日 時：平成 30 年 9 月 19 日（水）19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館 研修室  
（住所／上平六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：武智 礼央さん（日本トンボ学会会員）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

### 参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。1日1名1人1種1講座に限り、延期・中止などの本講座に関するご連絡のみ対応させていただきます。また、第二者に譲渡・譲渡することはありません。

参加者氏名	
住所	〒〒〒までがよいません。
電話番号	



【面河山岳博物館・夜の講座】

## 久万高原の無居住化集落の話

～人が減って変わる自然 どうなる？どうする？～

2004年8月に久万高原町が誕生して、今年で15年。その間、人口は約3,000人減少しています。年々によっては思いもよらないくらい減っているところも少なくありません。国勢調査では2050年までに現在の約半分の人口が減少する見込みです（無居住化）になると予測されています。これらの地域では山林や農地の維持管理の放棄による里山環境の劣化が懸念されています。自然環境にさまざまな影響を与え始めていると考えられます。

この講座では筑波大学で環境デザインを専門にされている藤原先生をお招きし、栗郷と久万高原で起こっている無居住化の現状やその自然への影響を解説します。

### 【内容】

- ・無居住化とは？
- ・栗郷と久万高原の無居住化背景
- ・無居住化の新しい風景とは？
- ・無居住化による自然への影響
- ・無居住化は止まるか？止まるべきか？



- ◎日 時：令和元年10月30日（水）19：00～20：15
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室（住所／上野村久万高原町久万188）
- ◎講 師：遠藤敬造さん（筑波大学社会共創学助教授）
- ◎参加費：100円
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

## くらしの中のヘビ

～嫌われもの？神様？切っても切れない人とヘビの繋がり～

皆さんは「ヘビ」と聞くとどのような印象を持ちますか？「怖い」「気持ち悪い」「不潔」と思える人が大半だと思いますが、「かつこいり」「おもしろい」「神様」と感じている人も少いでしょうか。昔からその怪や神々の守護神的存在ですが、一方で神が怖いや、水虫や蛇に悩まされた経験もたくさんあるとして、古くからの怪や神として、ヘビに対する「怖い」や「嫌い」も古くからの怪や神のイメージ、あつちのものを愛し、現代の暮らしのくらしに繋ぐ役割も果たしています。

この講座では元画家の藤原こし恵先生が、久万高原町に生息するヘビの種類や生態を話し、神とヘビの繋がり、くらしの中のヘビについてお話しします。これを機に、ヘビにも怖いイメージにとヘビが別になるはず！

### 【内容】

- ・久万高原の生息するヘビ
- ・ヘビのくらしについて
- ・ヘビが神に由来する
- ・成神になった久万高原の神々
- ・水を愛しくして暮らしたヘビ



- ◎日 時：令和元年11月26日（火）19：00～20：15
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室（住所／上野村久万高原町久万188）
- ◎講 師：山路 俊子（面河山岳博物館副館長 地域おこし協力隊員）
- ◎参加費：100円
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

### 参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。申し込みは個人署名は必要ありません。印刷・コピーなど本票に使用する印刷物のみ印刷してください。お申し込み、申し込みの受付は終了させていただきます。

参加者氏名	
住所	〒〒〒まででかまいません。
電話番号	

### 参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。申し込みは個人署名は必要ありません。印刷・コピーなど本票に使用する印刷物のみ印刷してください。お申し込み、申し込みの受付は終了させていただきます。

参加者氏名	
住所	〒〒〒まででかまいません。
電話番号	

【面河山岳博物館・夜の講座】

## 鉱物入門

～鉱物採集の楽しみ～

子供から大人まで、男性も女性もみんな大好き鉱物。関東や関西の身近な鉱物からレアものまで、コレクションの目標で鉱物の楽しさや集める楽しさなどを増やしていただきます。お話を聞いて採集の楽しさを知りたい方、野外で採集をやってみよう、ぜひ、ご参加ください！

### 【内容】

- ・鉱物って何？
- ・鉱物の種類について
- ・身近な鉱物、レアな鉱物
- ・採集の楽しみ方！
- ・これが採集愛好者のくらしだ！



- ◎日 時：令和元年12月4日（水）19：00～20：15
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室（住所／上野村久万高原町久万188）
- ◎講 師：西尾 亜二さん（鉱物石の会幹事）
- ◎参加費：100円
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。  
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

### 参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。申し込みは個人署名は必要ありません。印刷・コピーなど本票に使用する印刷物のみ印刷してください。お申し込み、申し込みの受付は終了させていただきます。

参加者氏名	
住所	〒〒〒まででかまいません。
電話番号	